

スペシャルすまいる

No. **51**
2017
January

NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



★日光けっこうフェスティバル



★日光けっこうフェスティバル

募金活動の様子



★日光霧降アリーナ



★日光霧降アリーナ

～赤い羽根共同募金を通じて多くの方々に福祉や地域福祉活動に関心を持ってもらう～
幅広い年齢層の方々にご協力頂きました。

CONTENTS



この広報誌の発行にはみなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

- 会長年頭あいさつ 2ページ
- 社会福祉大会案内 3ページ
- 私の地域の福祉活動（今市、豊岡、塩野室地区） 4～5ページ
- 会費報告・寄付、義援金報告・寄付金制度周知 6ページ
- 指定管理施設の紹介（日光、藤原、足尾センター） 7ページ
- 福祉共育シリーズ③「学校×地域連携プロジェクト」 8ページ

2017

新年のごあいさつ

「誰もが安心して暮らすことのできる
福祉のまちづくりを目指して」

社会福祉
法人

日光市社会福祉協議会
会長 齋藤 文夫



新年、明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日光市社会福祉協議会発足から10年が経過いたしました。お蔭様で今日まで皆様方の暖かいご支援・ご協力をいただき、地域福祉活動はじめ権利擁護事業、介護保険事業等福祉サービスの適切な運営や充実強化に向けた取組みが継続できておりますことに衷心より感謝申し上げます。

さて、ご承知のように近年における福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、少子高齢化の急速な進展、核家族化に伴う介護力の低下、公的サービスだけでは対応できない生活支援のニーズや社会的孤立、貧困を背景とする深刻な生活課題が顕在化しており、これからの地域福祉のあり方が大きく問われております。

このような中、本会では日光市と協働し平成28年度を新たな起点とする「第2期地域福祉計画・第2期地域福祉活動計画」をベースに、市内13の生活圏域ごとの福祉課題、生活課題等を地域住民が主体となり解決していけるような仕組みづくりのための支援をさせていただいております。

更には、介護保険法の改正に伴い既存サービスに加え、介護予防の部分を中心に日光市独自の柔軟かつ多様なサービスや支援が求められる中で、日光市より受託した「生活支援体制整備事業」の下、地域住民による支えあいの活動をはじめとする新たなサービス資源の開発を図るべく、地域を担当する専門職（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置強化を行い、住民や地域関係機関による連携体制の構築や住民活動等の下地作りに向けた協議、検討も進めているところであります。

今後は本会が「第2期地域福祉活動計画」の推進に際し昨年7月に立ち上げました地域ごとの「福祉のまちづくり推進委員会」を核とした地域課題の解決に向けた活動と併せ、これら高齢者の介護予防などの生活支援への対応についても一体的に推進し充実を図ってまいりたいと考えております。

また、昨年社会福祉法の改正が行われ、公益性・非営利性を確保する観点からの社会福祉法人制度改革の中では、国民に対する説明責任や地域社会に貢献する法人としてのあり方が明確化されております。本格施行となる本年4月1日に向けて各社会福祉法人において対応準備が進められており、本会においても「経営組織のガバナンス強化」、「事業運営の透明性向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組みの実施」といった改正の柱に沿い、地域福祉を推進する中核的な組織としてより一層の自覚と適切な事業活動の推進が求められているところでもあります。

本会は法の遵守はもとより社会情勢、生活課題やニーズに即した事業展開、市民の皆様の主体的な活動を支援しながら、地域の諸課題解決への支えあいの創造と、豊かな福祉コミュニティづくりができるよう、きめ細かな取組みを継続していく所存でございますので、今後においても暖かいお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますこととお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「第11回日光市社会福祉大会」

開催のお知らせ!



【会 場】日光市今市文化会館

【日 付】平成28年2月18日(土) 午後1:00～3:30

第一部	式典(日光市社会福祉協議会長表彰)	午後1時00分～
第二部	議事(大会宣言)	午後1時40分～
第三部	記念講演	午後2時00分～

入場無料
手話通訳・要約筆記
託児あります。

記 念 講 演

「いじめの先にあるものは」 ～取材現場から見たもの～

●プロフィール

1958年生まれ。東京都板橋区出身。
早稲田大学政治経済学部卒業。

大学時代、スカウトをきっかけにモデル、俳優として活動を開始。また、大学時代より家庭教師を始め、29歳の時、家庭教師を派遣する有限会社を自ら設立。36歳まで、芸能・取材活動のかたわら、プロの家庭教師として活動。プロの家庭教師として教え子を数々の有名校へ進学させる。

「阿部ちゃん」や「阿部さん」の愛称で親しまれ、現在は情報番組のレポーターとして活躍。

NTV系列「スッキリ!!!」ではレギュラーリポーターを務める。
恐妻家としても有名。妻はプロゴルファーの阿部まさ子氏。

講師

(リポーター)

阿部 祐二 氏



【趣旨】

少子・高齢化の進行、生活様式の変化、長引く景気低迷や雇用環境の厳しさも加わり社会的孤立や経済的困窮の問題など、地域における生活課題は深刻化しています。

このような状況のもと、誰もが地域の中で生きがいをもち、安心して生活できるようにするためには、市民ひとりひとりの福祉に対する理解と協力を基盤とした住民主体の地域社会の確立が必要となります。市民が一同に会し、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを実現するため、積極的な取り組みを誓うとともに、福祉推進に功績のあった方々へ感謝の意を表する場として本大会を開催します。



私の地域のふくし活動



豊岡
地区

とよおか福祉まつり ～子どもから大人までみんなが主役～

豊岡地区社会福祉協議会では、11月5日（土）に豊岡運動公園にて“第8回とよおか福祉まつり”を開催しました。

この事業は、「だれもが安心して暮らせるまちとよおか」を目指して、住民同士のふれあい・交流を図り、地域福祉への理解と参加を促進することを目的としています。

当日は天候にも恵まれ、スタッフ・来場者合わせて約500名の参加があり、とても賑やかなまつりになりました。

また、NPO法人もみの木のよさこい・ハンドベル演奏、芹沼保育園の園児によるおゆうぎ、今市消防署職員のAED講習、豊岡教室やしおの会の大正琴演奏などで会場を盛り上げていただきました。

更に、豊岡中学校の生徒33名が、ボランティアで運営スタッフとして参加。各コーナーで大活躍しました。

子どもから高齢者まで、みんなの力を合わせて開催したまつり。これをきっかけに若い力を地域で育て、安心して暮らせる地域づくりを目指したいと思います。



今市
地区

「みんなにやさしいまち今市」を目指して

楽しい一日を過ごしましょう!!

今市地区社会福祉協議会は、現在介護している方、今まで介護していた方を対象に介護者交流会を実施しています。毎年、春から夏に1回、秋から冬に1回小旅行を行い、介護者同士の交流を通しリフレッシュを図ることを目的として行っています。



食事をしながらの交流会。親睦を深めました。



黒羽のあじさいは、最高の見頃でした。

7月は、黒羽城址公園のアジサイ・芭蕉の館を見学し、11月は安藤勇寿美術館で色鉛筆で書いた絵を鑑賞しました。美術館では、安藤勇寿先生から、直接お話を聞くこともでき、『昔の懐かしいぬくもりを感じる。』『ところが洗われる。』などの声が、皆さんの会話から聞こえてきました。

お昼を食べながら、今までの経験や今回参加したきっかけなど、一人ひとりお話していただきました。『時々、介護の生活に疲れることもあるけれど、交流会に参加すると、またがんばる力が湧きます。やさしくなれそう。』という、うれしい意見もありました。

介護をする人、介護を受ける人にも温かい、やさしい事業を地区社協は実施したいと思っています。

塩野室
地区

あったか地域づくり交流会
～みんなが集まれる地域行事を目指して～

11月6日に「あったか地域づくり交流会」が小林小学校で開催されました。

この事業は長年開催されていた「地域ぐるみ敬老の会」をリニューアルしたもので世代を超えて、住民同士が交流できる機会を作る事を目的としています。

当日はわなげやベーゴマ、ヨーヨー釣りなどのゲームコーナー、消防署による煙・消火器体験や福祉用具体験などの体験コーナー、障がい者支援施設の方々による販売コーナー、カレー・豚汁の飲食コーナーなどを地域のボランティアの方々が協力して運営していました。

一日を通して、賑やかな声が響き、普段会う機会のない方と話すきっかけになったとの声もあり、今後、地域の交流の場のひとつとなっていくと感じています。



(一般寄附) 順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
本所	匿名	300,000
今市	今市公民館ふれあい教室	8,770
今市	豊岡中26年度卒同窓会	8,493
今市	小野 ヨシエ	10,000
今市	日光グラウンドゴルフ協会	10,300
今市	今市公民館いきいき教室	2,300
今市	森友上五分区自治会	15,420
今市	今市公民館登山入門教室	2,152

(一般寄附) 順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
日光	日光市商店連合会 会長 若林 勲	10,000

(香典返し) 順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	金額(円)
藤原	福田 幸江	50,000

(物品寄附) 順不同・敬称略

取扱	寄 附 者 名	品 名
本所	町田 正明	球根

皆さまのお気持ちありがとうございます

平成27年度は、2,796,913円の寄付をいただきました。

●税制上の優遇措置について

日光市社会福祉協議会は、社会福祉法人となっており、本会に対する寄付には、所得税法による寄付金控除、法人税法による寄付金の損金算入等の優遇措置があります。

※寄付金控除計算式※(個人の場合)

寄付金額 - 2,000円 = 年間所得総額から控除される金額

(詳しくは、市税務課又は管轄税務署にご確認ください。)

※控除を受けるためには、確定申告を行う必要があります。



寄付金は、本会の活動を支える重要な財源です。金額の多少を問わず、年間を通じて受け付けておりますので、みなさまのお気持ちをお寄せください。たとえば、こんな寄付をいただいています。

- 町内会、趣味の会、企業などのイベントでの収益を

- 個人的な記念日等にあわせて、毎年一定の額を
- 店頭で募金箱を置いて、集まったお金を
- 冠婚葬祭でいただいた慶祝金や弔慰金の一部を(また、返礼の代わりとして)



社会福祉協議会会員 会費募集結果のご報告

総額 **13,577,100** 円

平成28年度社会福祉協議会会費募集につきましては、多くの市民・事業者等の皆さまのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この会費は、本会及び地区社協の活動を支える貴重な財源として、各種事業や会の運営に活用させていただきます。

今後も、皆さまの参加を得て、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指した組織・事業運営を進めてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



「熊本地震災害義援金」のお礼と中間報告

11月30日現在

累計額 **3,646,531** 円

お預かりした義援金は全額、日本赤十字社栃木県支部に送金をさせていただきました。(日本赤十字社を通じ被災地に配分されます。)

★義援金受付期間：平成28年4月18日～平成28年12月28日

★募金箱設置・受付窓口：

日光市役所市民課、各行政センター市民サービス係
社会福祉協議会本所、各支所(栗山支所を除く)

指定管理施設の紹介

日光市社会福祉協議会では指定管理者として、日光福祉保健センター、藤原福祉センター、足尾保健・高齢者生活福祉センターの運営管理を行っており、市民のみなさんの活動・交流の場としてご活用いただいております。

【日光福祉保健センター】



〒321-1435 花石町1942-1
TEL 0288-54-2143

- 福祉活動・ボランティア活動等の拠点
- いきがい型デイサービス事業
- 日光・足尾地域包括支援センター
- 介護保険事業所ひかり（居宅介護支援・訪問介護）
- 健康診断・乳児健診等保健事業
- 日光親子ふれあい広場



日光親子ふれあい広場の様子
（楽っ子の会）

【藤原福祉センター】



〒321-2522 鬼怒川温泉大原2
TEL 0288-77-2777

- 福祉活動・ボランティア活動等の拠点
- 生活支援ハウス運営事業
- 藤原・栗山地域包括支援センター
- 介護保険事業所ふじの郷（居宅介護支援・訪問介護）



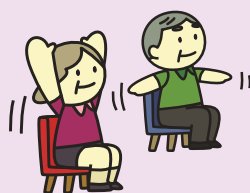
ボランティア活動の様子
（音訳サークルひまわり）

【足尾保健・高齢者生活福祉センター】



〒321-1524 足尾町赤沢3-23
TEL 0288-93-0002

- 福祉活動・ボランティア活動等の拠点
- 生活支援ハウス運営事業
- 地域包括支援センター窓口業務（足尾地域）



地区社協事業の様子
（おしゃべり会）

日光市における

福祉 共育

の 取 組 み

日光市社会福祉協議会では、地域の担い手を育む福祉教育（共育）推進の一環として、学校と地域との協働によるボランティア・福祉教育活動を推進しています。今回は、日光明峰高校と学校周辺の自治会、社協との連携による協働実践「学校×地域連携プロジェクト」の取り組みについて紹介します。

Series.3

日光明峰高校 「学校×地域連携プロジェクト」【日光地区】

活動の 概要

このプロジェクトは、高校生が学校周辺の地域の課題に積極的に関わり、身近な地域のために自分たちにできることを考え、実践していく活動です。

この活動では、高校生が主体となって、身近な地域の活性化を図っていくこと、そして、高校生自身の地域社会に対する関心と社会の一員としての自覚を高めることを目的としています。

活動の実施にあたっては、日光明峰高校を中心に、学校周辺の4自治会（花石町、久次良町、安良沢町、裏見台）と安良沢小学校、日光中学校、社協が協力して、平成28年1月から話し合いを積み重ね、その方向性を考えていきました。

そして、10月5日（水）、このプロジェクトでの初めての実践活動となる第1回目のサロン活動が、日光明峰高校茶道室にて開催されました。

学校周辺に住む住民と高校の生徒たちとの交流を目的として、生徒会役員の進行のもと、アイスブレイクを行ったり、茶道部の生徒たちによるお点前をいただいたりしながら、日光地区の今昔や地域の現状・課題などについて楽しく話し合っていました。最後の全体共有の時間では、住民・生徒双方から前向きな意見が多く聞かれ、有意義な交流会となりました。

このサロン活動をきっかけとしながら、このプロジェクトでは、今後も更なる地域活性化を見据えた継続的な活動の展開を考えていきます。

